

DVD一覧

番号	タイトル	出版元	所要 時間	カテゴリー	内容	字幕	副音声	解説書
133	メンタルヘルスと人権 ～あなたの心の声を聞いていますか～	解放出版社	30	職場問題	メンタルヘルス(心の健康)ケアの重要性を気づかせてくれる作品。活き活きと働ける職場づくりを実現するためのセルフケアと職場のラインケア、また家族の関わり方を考えさせるきっかけとなります。	○	なし	×
141	どうして、そんなこと聞くの ～公正な採用選考のために～	東映株式会社	27	職場問題	人事部に配置された大島は新入社員の採用資料 エントリーシートに「スリーサイズ」「血液型」など不適切な項目があることに気づいた。実際の面接でも不適切な質問が、うっかりと行われている実態もあり、大島は部下の智子とともに、上司の谷を加え模擬面接を実施することで、公正な採用選考の重要性を上司に訴えます。	なし	なし	なし
150	活かそう！職場のダイバーシティ（全社員編） ～一人ひとりがいきいきと働くために～	自己啓発協会	25	職場問題	ダイバーシティ(多様性・異質性)という言葉をご存知ですか？従業員の違いを強みに変える組織のあり方が、今求められています。全社員向けの内容となっています。	なし	なし	なし
165	企業活動に人権的視点を -CSRで会社が変わる・社会が変わる- (199番・215番も同じ作品)	人権教育 啓発推進センター	103	職場問題	経済産業省中小企業庁の委託事業として、CSRや人権課題に関する企業の取組を啓発推進することを目的に作成され、それらに積極的に取り組まれている企業の実践事例を、分かりやすくまとめたものです。障がい者雇用、高齢者雇用、ワーク・ライフ・バランス、継続的な震災復興支援、人権に関する社会貢献の事例が収録されています。 また、専門家による各辞令の取組みのポイントやCSRと人権課題に関する解説も収録されています。	○	○	○
186	考えよう！ハラスメント VOL.4 パワハラを学ぶ	アトリエエム株式会社	20	職場問題	働く人の3人に1人がパワハラを受けたことがあるという実態が明らかになりました。全国の労働局に寄せられるパワハラの相談も7万件を超えて毎年増え続けています。「パワハラを学ぶ」では、パワハラの被害や同僚から相談を受けた時の対応、相手のモチベーションをアップさせる指導法等について、イラストやデータを盛り込んで解説しています。	○	なし	なし
187	考えよう！ハラスメント VOL.5 メンタルヘルス	アトリエエム株式会社	21	職場問題	多様な働き方が進む中で、ハラスメントや長時間労働などのストレスによってメンタルヘルス不調になる人が増えています。うつ病などで苦しんでいる人も100万人を超えているといわれています。「メンタルヘルス」では、セルフケアを中心に、ラインケア、ストレスの基礎知識、ストレスコーピング、職場のメンタルヘルス対策等について、イラストやデータを盛り込んで解説しています。	○	なし	なし
197 ・ 198	企業と人権 ～職場から作る人権尊重社会～	人権教育 啓発推進センター	40	職場問題	近年、ハラスメントをはじめLGBTや外国人に対する差別に関わる問題が注目を集めています。こうした「人権問題」への対応は、時として企業の価値に大きく関わります。このDVDでは、研修で活用しやすいよう、実際の取り組みを紹介しながらドラマを交えて人権的視点の取り入れ方やポイントを解説しています。	○	○	○
199	企業活動に人権的視点を -CSRで会社が変わる・社会が変わる- (165番・215番も同じ作品)	人権教育 啓発推進センター	103	職場問題	「企業の社会的責任と人権」セミナーに登壇した企業の実践事例の中から、企業にとって関心の高いテーマに関する5つの事例と専門家による解説を映像で紹介しています。①障がい者雇用 ②高齢者雇用 ③ワークライフバランス ④震災復興支援 ⑤人権に関する社会貢献	○	○	○

DVD一覧

番号	タイトル	出版元	所要 時間	カテゴリー	内容	字幕	副音声	解説書
213	お互いを活かし合うための人権シリーズ⑥ 小さな歩みを見つけよう ～職場の人権 気づきポイント集～	東映株式会社	24	職場問題	この作品は、ある会社の人権啓発室メンバーが社内外の取材をもとに再現ドラマを作り、社内特設サイトで公開。社内のチャットツールを通して集まった感想コメントを受けて、メンバーが多様な人権への気づきを探していきます。 テレワークの普及などで職場での働き方がますます多様になってきている今、仲間とともに自分らしく働く。ために、少しでもこの映像教材がヒントになれば幸いです。	○	○	○ (WEB)
215	企業活動に人権的視点を - CSRで会社が変わる・社会が変わる - (165番・199番も同じ作品)	人権教育 啓発推進センター	103	職場問題	経済産業省中小企業庁の委託事業として、CSRや人権課題に関する企業の取組を啓発推進することを目的に作成され、それらに積極的に取り組まれている企業の実践事例を、分かりやすくまとめたものです。障がい者雇用、高齢者雇用、ワーク・ライフ・バランス、継続的な震災復興支援、人権に関する社会貢献の事例が収録されています。 また、専門家による各辞令の取組みのポイントやCSRと人権課題に関する解説も収録されています。	○	○	なし
216	企業活動に人権的視点を ② ～会社や地域の課題を解決するために～	人権教育 啓発推進センター	97	職場問題	経済活動のグローバル化や技術革新などにより、企業が社会に与える影響は、ますます大きくなっています。これに伴い、地球環境への関心が広がり、国際的な人権意識の高まりなど、企業が果たすべき社会的責任・CRSが問われる時代になってきました。企業は顧客、取引先、株主、地域社会、従業員など、実に様々な人々と関わりながら活動をしています。多くの人から支えられる企業であるからこそ、これらの人々に誠実に対応していく必要があります。このビデオでは、どのように取り組むことが企業内外の人のためになり、地域や環境のためにもなるのか、先進的な5つの取組事例を紹介しています。	○	○	なし
217	許すな「えせ同和行為」 ～あなたの会社を不当な要求から守ろう～	人権教育 啓発推進センター	36	職場問題	「えせ同和行為」とは、同和問題を口実にして、企業・個人や官公署などに不当な利益や義務のないことを求める行為を指します。 えせ同和行為は、同和問題に関する誤った認識を植え付け、偏見や差別を助長する要因となっており、同和問題の解決を阻害するものです。 本DVDでは、「えせ同和行為をはじめとする不当要求行為」の主な事例をドラマ形式で具体的に紹介し、その心構えと対策をわかり易く紹介しています。 ドラマの主人公を「えせ同和行為対策」を任された中小企業の従業員に設定しているので、こうした問題に関わったことのない人でも、自分のこととして共感しながら見ていただけたと思います。	○	○	○
222	今企業に求められる 「ビジネスと人権」への対応	人権教育 啓発推進センター	35 ・ 13	職場問題	「ビジネスと人権に関する調査研究」報告書に基づき、企業が「ビジネスと人権」に関する取組を進めるに当たって、参考となる情報をドラマやCG、ナビゲーターによる解説などでわかりやすく紹介。	○	○	なし